

政治学、行政学

研究者プロフィール

・法学部 法律学科 准教授 源島 穰
・専門分野：政治学、行政学
・研究分野：福祉国家論、現代イギリス政治
・所属学会：日本政治学会、日本比較政治学会、日本行政学会
・経歴：2019年筑波大学大学院人文社会科学研究科修了。
博士（政治学）取得。山形大学人文社会科学部講師、准教授を経て現職。
・主要論文：「相互作用ガバナンスとしての社会的包摂：イギリスの近隣地域再生政策を事例に」（『比較政治研究』3号、2017年）、「EU離脱後の地域再生政策：「社会的包摂」と「レベル・アップ」の連続性」（『山形大学法政論叢』76・77号、2023年）、「山形県における技能実習生受入れ企業の現状分析」（『山形大学人文社会科学部研究年報』20号、2023年）など。



研究内容

専門は政治学・行政学で、特にイギリスを中心とする福祉国家を研究しています。福祉国家は様々な福祉を提供しますが、その財源である税や保険料を確保するために「就労」も人々に求めます。しかし、年齢、学歴、性別、障害などを理由に、就労には有利・不利が生じます。就労の有利・不利を踏まえて、あるいは無視して、福祉国家は誰に対してどのように就労を求めてきたのか、その就労の要請（強要）はどのように正当化されてきたのかを解明するのが、私の研究テーマです。近年は、イギリスだけでなく日本もフィールドに、就労を通じて福祉国家に貢献する「移民」の扱われ方についても研究しています。

関連キーワード

福祉国家 イギリス政治 移民

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

これまで、テレビ・新聞・ネット番組でイギリスや日本の政治・行政に関するニュースの解説を行ってきました。解説したニュースは私の専門の福祉や移民だけではなく、国政や地方政治、選挙など政治・行政に関する内容であれば幅広く承ってきました。今後もイギリスや日本の政治・行政に関するニュースの解説をご依頼いただければ、可能な限りお引き受けします。

また、山形県社会福祉協議会の運営委員も務めていたため、地域の福祉行政やその他行政に関する仕事も、お引き受けできるかもしれません。

研究者への連絡先

genjima@mail.tohoku-gakuin.ac.jp